



年末年始歯科救急当番医

月/日	歯科医院 (診療時間 10:00 ~ 12:00)
12/31(木)	□山本歯科クリニック 上江別西町 53-23 ☎ 391-2217
1/1(金・祝)	□てらい歯科クリニック 野幌代々木町 38-3 ☎ 391-3677
2(土)	□ほりい歯科 野幌町 57-1 ☎ 382-3446
3(日)	□アップル歯科 野幌町 50-37 ☎ 385-8822



— 高齢者インフルエンザ予防接種 —

65歳以上の方に対して実施している高齢者インフルエンザ予防接種は市内54カ所の医療機関で実施していますが、令和2年11月16日現在すべての実施医療機関で高齢者インフルエンザの予防接種の終了または予約受付を中止している状況となっております。

皆さまにはご迷惑をおかけいたしますが、新型コロナウイルスの感染予防に合わせて引き続き、「手洗いの徹底」、「こまめな換気」、「咳エチケット(マスクの着用)」、「3つの『密』を避ける取り組み」などにより、感染症対策にご留意いただきますようお願い申し上げます。

【詳細】保健センター管理係 ☎ 391-8036

12月
1月



休日・祝日当番病・医院(救急・急病)



【診療時間】内科・小児科 9:00 ~ 17:00 / 外科系 9:00 ~ 翌朝 9:00 (■印の医療機関は診療時間が異なります)

江別医師会 HP

日程	内科・小児科	外科系
12/6(日)	□溪和会江別病院(内科のみ) 野幌代々木町 81-6 ☎ 382-1111 □あずま子ども家庭クリニック(小児科のみ) 野幌住吉町 25-10 ☎ 385-2500	□溪和会江別病院 野幌代々木町 81-6 ☎ 382-1111
13(日)	□ささなみ内科クリニック 野幌町 66-2 ☎ 382-3373 □ウルトラ内科小児科クリニック(小児科のみ) 大麻栄町 11-9 ☎ 688-8801	□江別谷藤病院 幸町 22 ☎ 382-5111
20(日)	□北町クリニック(内科のみ) 大麻北町 607-2 ☎ 386-2160 ■江別市立病院(小児科のみ) 若草町 6 ☎ 382-5151 (診療時間 8:30 ~ 17:00)	■江別市立病院 若草町 6 ☎ 382-5151 (診療時間 8:30 ~ 翌朝 8:30)
27(日)	□おくの内科胃腸科クリニック 野幌町 26 野幌メディカルビル 4階 ☎ 381-0501 □おおあさ鈴木ファミリークリニック 大麻扇町 3-4 ☎ 386-5303	□江別谷藤病院 幸町 22 ☎ 382-5111
30(水)	■平賀内科クリニック 野幌東町 26-26 ☎ 382-5989 (診療時間 8:30 ~ 17:00) ■江別市立病院(小児科のみ) 若草町 6 ☎ 382-5151 (診療時間 8:30 ~ 17:00) □江別谷藤病院(内科のみ) 幸町 22 ☎ 382-5111	□江別谷藤病院 幸町 22 ☎ 382-5111
31(木)	□内科循環器科白樺通りクリニック(内科のみ) 野幌若葉町 40-11 ☎ 383-7111 □松尾こどもクリニック(小児科のみ) 高砂町 25-11 江別メディカルビル 3階 ☎ 384-8819 □野幌病院(内科のみ) 野幌町 53 ☎ 382-3483	□野幌病院 野幌町 53 ☎ 382-3483
1/1(金・祝)	□あさひ町南大通クリニック 朝日町 3-30 ☎ 383-9816 □溪和会江別病院(内科のみ) 野幌代々木町 81-6 ☎ 382-1111	□溪和会江別病院 野幌代々木町 81-6 ☎ 382-1111
2(土)	■むらかみ内科クリニック 大麻新町 7-6 ☎ 387-1555 (診療時間 8:30 ~ 17:00) □あずま子ども家庭クリニック(小児科のみ) 野幌住吉町 25-10 ☎ 385-2500 □溪和会江別病院(内科のみ) 野幌代々木町 81-6 ☎ 382-1111	□溪和会江別病院 野幌代々木町 81-6 ☎ 382-1111
3(日)	■江別市立病院(内科・小児科) 若草町 6 ☎ 382-5151 (診療時間 8:30 ~ 17:00)	■江別市立病院 若草町 6 ☎ 382-5151 (診療時間 8:30 ~ 翌朝 8:30)

※都合により変更される場合があります。詳しくは北海道救急医療情報案内センター (☎ 0120-20-8699、携帯電話からは 011-221-8699)、江別市消防本部 (☎ 382-5453) までお問い合わせいただくか、新聞紙上または江別医師会のホームページでご確認ください。



●北海道産婦人科救急電話相談 <さんぷきゅうきゅう>
☎ 290-3299 (年間全日対応 19:00 ~ 翌朝 9:00)
●北海道小児救急電話相談 <お子さんの急な病気やけが>
☎ 232-1599 または # 8000 (年間全日対応 19:00 ~ 翌朝 8:00)

江別市夜間急病センター<内科・小児科>



診療時間 19:00 ~ 翌朝 7:00
(受付 18:30 ~ 翌朝 6:30)
錦町 14-5 ☎ 391-0022

年中
無休

JR江別駅前 謎の像に迫ります！

このコーナーは広報広聴課が気になる話題をピックアップしてお伝えします 企画：広報広聴課 ☎ 381-1009

JR江別駅前、水道庁舎の駅側に立っているブロンズ像。通りかかるたびに気にはなっていました、立ち止まってじっくり見たこともありませんでした。

今回は、江別駅前の謎の像について調べてみました。

◆ まちで聞き込みを試みる

詳しい人がいるかと思い、まずはブロンズ像を見ている人に聞き込みしようと調査（※1日1時間ほど）を開始することにしました。

1日目

休日ということもあり散歩の人のみ

2日目

平日の朝だったため通勤通学で急いでいる人のみ

3日目

見ている人が2日ともいなかったため断念。ブロンズ像に近づいてみることにしました。台座部分に「少女」「1981」「佐藤忠良」と書かれていました。

◆ インターネットで検索して調べてみる

とりあえずヒントになるものと思い、インターネットで検索してみることにしました。すると、札幌芸術の森美術館に佐藤忠良記念子どもアトリエというものがあることがわかりました。

札幌芸術の森美術館のホームページによると、佐藤忠良（ちゅうりょう）先生は、身近な人物を題材にした彫刻を追求してきた日本を代表する彫刻家で、1912年に宮城県に生まれ13～21歳の青年期を札幌で過ごしました。彫刻制作の一方で子どもの造形教育や豊かな感性を育むための活動にも力を注ぎました。



◆ なぜ水道庁舎にアートが？

中央公民館が江別駅前の今の場所に移転する前は、水道庁舎の1階にも集会所がありました。

水道庁舎建設時には、駅前にふさわしい市民の憩いの場とするため、庁舎前庭にブロンズ像を設置することにしたほか、市民に開放される同庁舎ロビーなどに絵画、建設現場から発掘された文化財を展示することになりました。

★ ブロンズ像「少女」^{ちゅうりょう}佐藤 忠良 作

仙台市、横浜市、倉敷市など多くの都市に作品がある北海道が誇る著名彫刻家。江別の未来を担うにふさわしい作品として立像「少女」が選ばれました。

★ 絵画「人魚」「魚」「摩周湖」^{うえのやま きよつぐ}上野山 清貢 作

江別が生んだ著名な道産子ロマン画家。和製ゴーガンと称され脚光を浴びました。幻想的な題材の「人魚」、北海道の自然が題材の「魚」「摩周湖」を展示しています。

★ 文化財

昭和56年に水道庁舎の建設工事中に見つかった土器や石器を展示しています。

◆ 佐藤忠良先生が来江していた

少女像を設置してから十数年後。雨風などにさらされて色が変化し、管理が悪かったのではないかと気に病んだ当時の職員は、悩んだ結果、先生に恐る恐る管理方法を相談することにしました。すると、たまたま来道する予定があり、帰京途中にわざわざ立ち寄ってくれた先生から、「日本では維持管理に気を使い、すぐ色を塗り直したりするが、経年変化を楽しんでもらうのも作品の一部です。現状のまま見てもらいたい」と回答をいただき、ほっと胸をなでおろしたそうです。

編集後記 担当者のこぼれ話

▶今年の4月から広報広聴課に異動してきました。インタビュー、写真撮影、記事作成などこれまでとは全然違う仕事に、悪戦苦闘の毎日です。今回は、バスのことで頭がいっぱいになっていました。まだまだ勉強不足ですが、これから日々頑張っていきます。☑

▼10月号特集『非日常メガネ』に、たくさん感想を頂戴しました。どうもありがとうございました。編集作業で疲労困ぱいでしたが、数々の暖かいお言葉に元気付けられました。まだまだ未熟者ですが、今後も読みたくなるような紙面づくりを目指し、精進してまいります。☑

広報広聴課公式インスタグラム

“えべつのはなし”はじめました

取材で撮影した写真や、広報えべつで紹介できなかった写真、まちの風景などを公開中です！



EBETSU.NO.HANASHI